

タイ経済指標斜め読み

(2025年1月版)

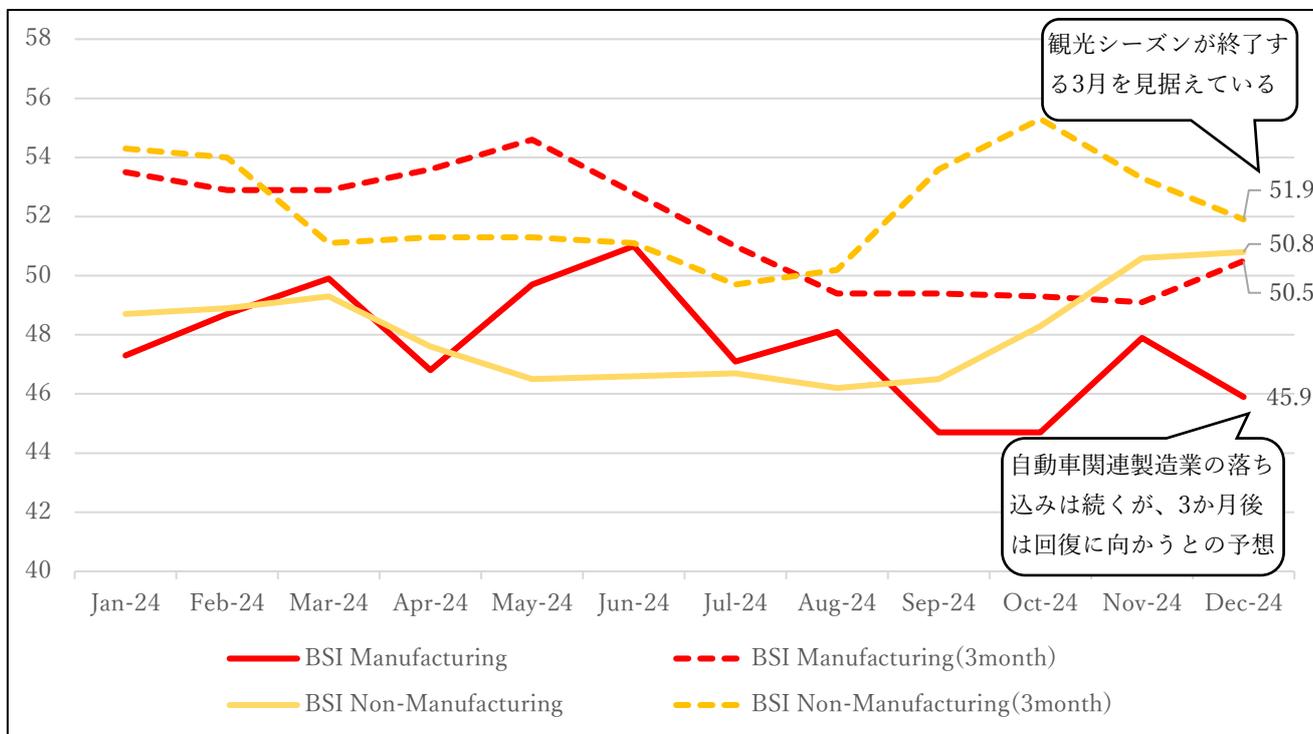
ビジネスサポート部

加藤義人

kato@mat.co.th

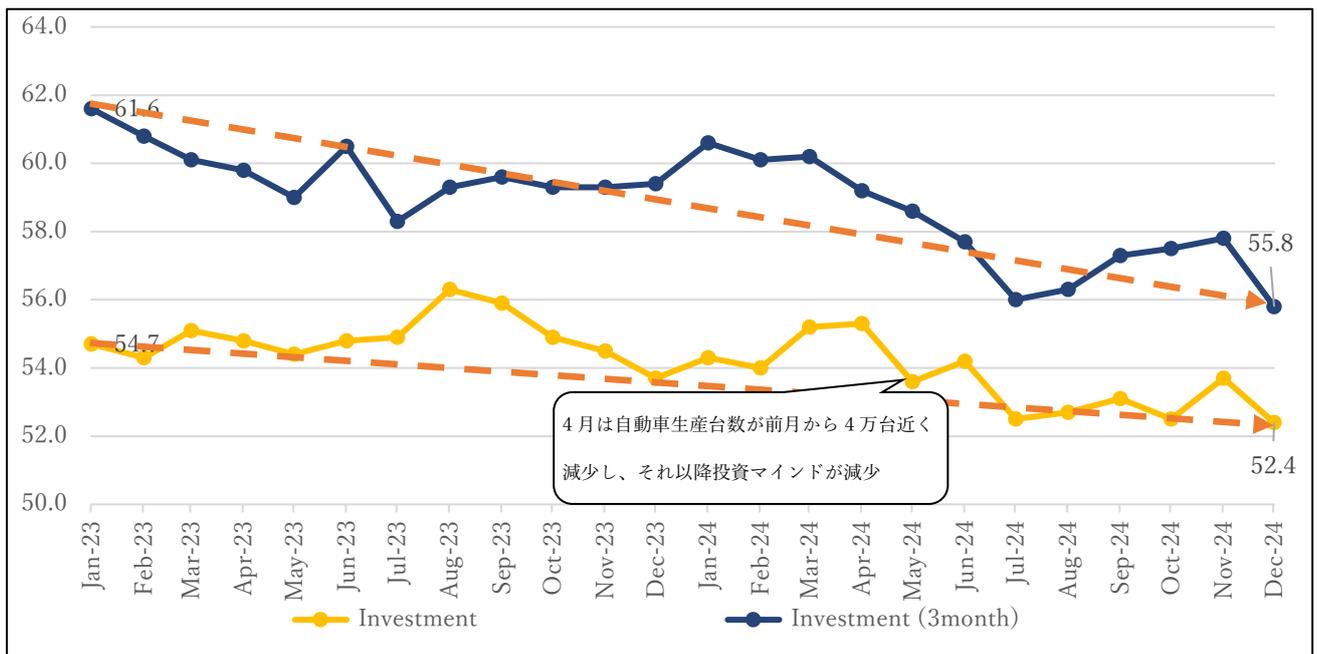
1. 【指数データ：経済指数】

タイ中央銀行は、12月のビジネス景況感指数（BSI）を発表した。下グラフはBSIの製造業と非製造業の当月と3か月後の期待値を表示している。（指数：50＝先月と比較して安定している）



12月の製造業BSIは45.9、同三か月後の期待値は50.5、非製造業は50.8、三か月後の期待値は51.9となった。製造業に何しては、自動車関連での落ち込みが大きく影響しているが、食料品などは、国内国外共に好調となっている。次に非製造業だが、観光シーズンの到来で国内の旅行・外食産業は好調を維持している一方、3か月後の期待値では、観光シーズンが終わりの時期となることや、政府のバラマキ政策が終了することから、不透明となっている。

次に、BSIの構成要素である投資に関する指数（当月、三か月後の期待値）を下記に示す。

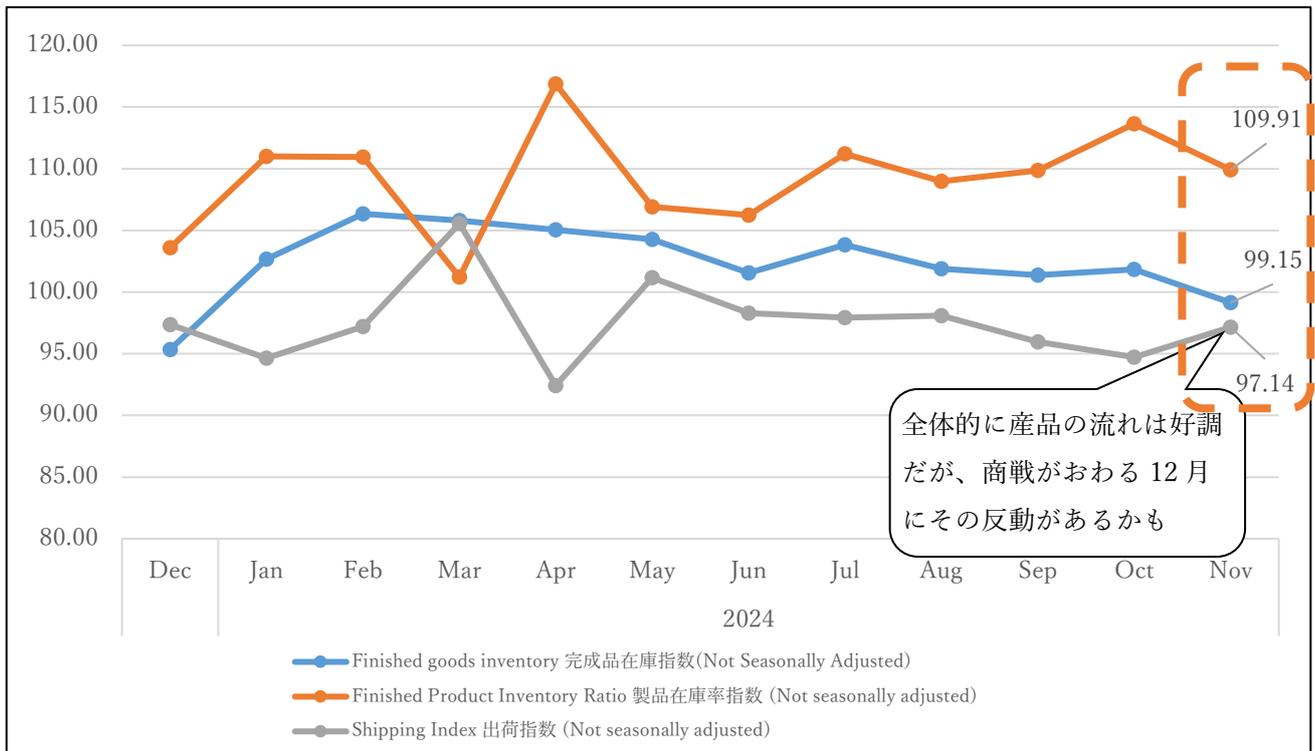


12月の投資BSIは52.4、三か月後の期待値は55.8となった。共に安定の50以上を示しているが、グラフを見る限り2024年1月から右肩下がりを見せている。昨年の4月を境に下落傾向が始まっていることが見て取れる。これは、自動車生産が落ち込み始めた時期と重なり、投資BSIも減少を始めている。投資マインドの冷え込みは、すそ野産業が多い自動車生産台数次第とも言えなくもない。

出所：<https://www.boi.go.th/>

2. 【データ：製品在庫指数】

タイ工業省工業経済事務局（OIE）は、12月の完成品在庫指数、製品在庫率指数、出荷指数を公表した。（2016年=100）



製品在庫率指数：一定の期間内に売却された完成品の総額と、その期間内に平均完成品在庫の総額とを比較することによって計算されます。この指数の値が高い場合、在庫の回転率が高いことを示し、完成品が速やかに売却されていることを意味します。一方、低い値の場合、在庫が過剰であるか、完成品の販売が遅い可能性があります。

完成品在庫指数：この指数の値が高い場合、完成品の在庫が売上高に対して比較的大きいことを示し、在庫が過剰である可能性があります。一方、低い値の場合、在庫が売上高に対して比較的小さいことを示し、在庫管理が効率的である可能性が高いです。

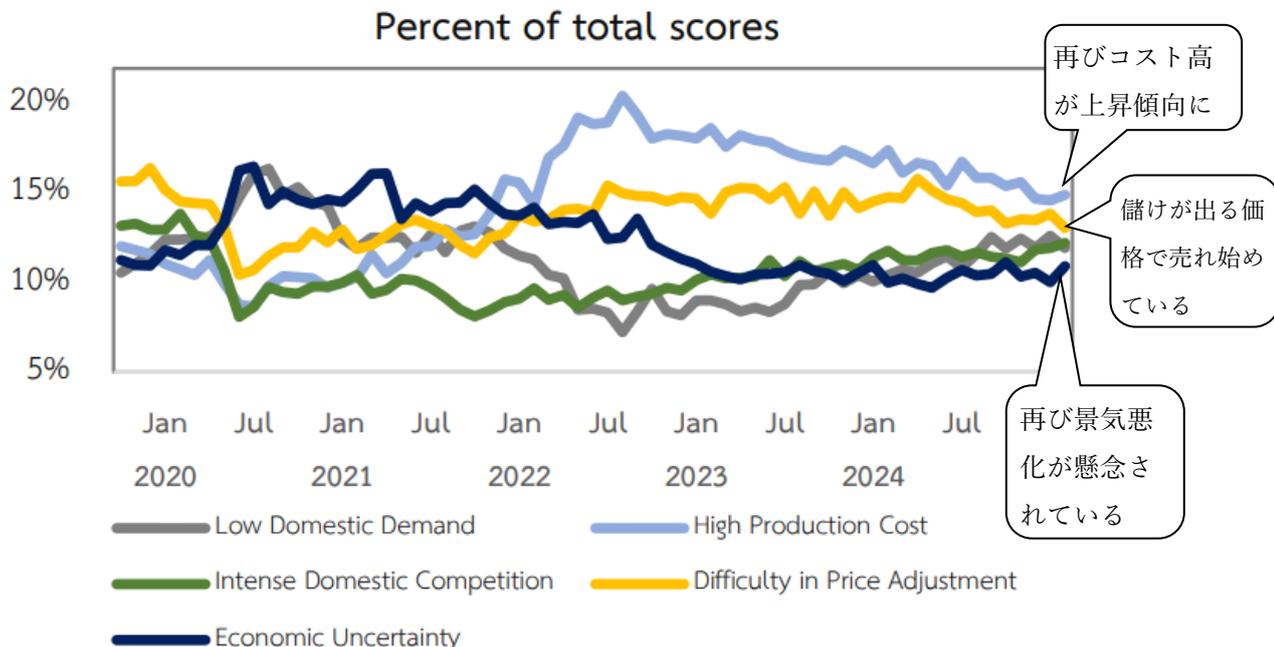
出荷指数：（指数が下がる要因）需要の低下、生産の遅れや障害、在庫の過剰、物流の問題、品質の問題があります。

11月の製品在庫率指数は109.91、完成品在庫指数は99.15、出荷指数は97.14となりました。12月のクリスマスや年末商戦に向けた国内外での需要が増加していることが見て取れ、在庫が減って効率的に回っていることが見て取れる。12月になると、それらの需要が一巡するため、11月指数を下回る結果となるが、前年同月と比較してどれくらい悪化するかが問題となるが、予想としてはそれほど影響はないと思われる。

出所：<https://www.oie.go.th/>

3. 【調査データ：経営上の障害】

タイ中央銀行は、12月の経営上の障害に関するアンケート調査を行った。回答はタイ国内の大中企業の665社（回答率62.3%）から得られたものとなる。



12月の経営上の障害のトップは、引き続き「製造コスト高」となった。続いて、「価格調整の難しさ」、「国内競争の激化」、「国内需要減」、「経済の不透明さ」となった。特徴的な点として「製造コスト高」と「経済の不透明さ」が再び上昇傾向になったことが見て取れる。タイの企業トップは、2025年の経済の動向が見通せない状況にあると思われる。

出所：<https://www.bot.or.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。